Tokushima ROFUKUKYO

労福協NEWS

2019.1　No.92

「地殻を破って」−2019年 新年に寄せて

わたしの魂よ、強く生きよ。
善と美に対して強く生きよ。
春先の麦の芽が黒土の地殻を破って萌え出づる如く強く生きよ。
混乱を越え、争闘と、怨恨と、暴行と、脅迫と、病弱を越えて強く生きよ。

わたしの魂よ、正しくあれ！
常に張り詰めて居れ。
雪崩が落ちてきても、強くあれよ。
わたしの魂よ、窘（おとしあな）に陥れられても懼（おそ）れるな。
凡（すべ）てを破って成長せよ。

(～中略～)

魂よ、白日を仰いで　昇天せよ！
百萬の太陽を浴びつゝ、翼なくして空中にて踊れ！
内なるものが爆発して居るではないか！

賀川豊彦著「地殻を破って」より抜粋　大正９年12月６日　福永書店

写真：県民と働く者のとくしまフェスタ 2017,2018 ／ 2018 地域ふれあいフェスタ in わーくぴあ

「労福協NEWS」は、連合、労金、全労済、勤労者福祉ネットワーク、労館、労福協の６団体による「共同デスク編集委員会」を持ち発行しています。

連合徳島 日本労働組合総連合会徳島県連合会
働くあなたを応援したい 四国ろうきん
保障のことなら 全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
公益財団法人 徳島県勤労者福祉ネットワーク
わーくぴあ徳島 （一般社団法人徳島県労働福祉会館）
公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会

労　福　協

労働者福祉の充実が地域社会を下支えする！

徳島県労働者福祉協議会
会　長　川越敏良

新年あけましておめでとうございます。皆様とご家族にとって、今年が幸多く、希望にあふれる一年となりますことをご祈念申し上げます。

昨年中は、労福協の運動と事業運営、そして組織運営にご理解とご支援をいただきましたことに心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返ると、平昌オリンピックでのスケート陣の活躍やバドミントン・卓球、野球などスポーツ選手が活躍した明るい話題の一方で、長時間労働による過労死や非正規労働の拡大が続き、パワハラやセクハラ事件等が続発しました。そして、これらを背景に格差と貧困は拡大し、その連鎖と思われる子どもや高齢者を対象とした事件も後を絶ちません。

このような中、徳島県労働者福祉協議会はその趣旨や理念に基づき、社会的役割と要請に応えて精一杯取り組んできたと考えています。

私どもは、生活困窮者自立支援事業や地域若者サポート事業などを国や自治体から引き続き受託してその充実に努め、社会的自立や社会参加を支援してきました。また、居宅介護やホームヘルプ事業、介護労働を中心に就労支援各種講座を引き続き事業展開するとともに、無料職業紹介所を通じた就労支援など社会的要請にも応えてきました。

一方、労働者福祉事業団体を取り纏める立場から関係団体の協力をいただき「労働者福祉推進員養成講座」を開設し、職場や労働組合における労働者福祉の理念の普及や事業の拡大のためにその理解の促進に努めてきました。

今年は、これらの取り組みをさらに強化して充実させることが重要だと考えています。そのためには、研修を充実して職員の資質やスキルをさらに向上させること、そして行政はもとより、官民を問わず地域資源を相互活用する立場からネットワークをさらに拡大・充実し、社会的認知度を高めてまいります。

これらの取り組みは労福協だけでは為し得ません。引き続き会員団体をはじめ関係者の皆様のご支援とご協力を切にお願いいたします。

今年もよろしくお願い申し上げます。

徳島県労働者福祉協議会役員名簿

役職名	氏名	所属
会長	川越敏良	徳島県労働者福祉協議会
副会長	森本佳広	日本労働組合総連合会徳島県連合会
〃	藤岡一雄	全労済徳島推進本部
〃	寺西稔	四国労働金庫
専務理事	林善章	徳島県労働者福祉協議会
常務理事	兼松文子	徳島県労働者福祉協議会
理事	久積育郎	徳島県勤労者福祉ネットワーク
〃	福本純	徳島県労働福祉会館
〃	梶原樹	徳島県生活協同組合連合会
〃	山藤正義	徳島県退職者連合
〃	大地均	全徳島建設労働組合
〃	瀧誠司	うずしお法律事務所
〃	佐藤健二	徳島大学
監事	藤原茂	税理士法人ティグレパートナーズ徳島
〃	豊田浩	全労済徳島推進本部
〃	板東啓太郎	四国労働金庫

連　合

新年のごあいさつ

日本労働組合総連合会徳島県連合会
会　長　森本佳広

新年明けましておめでとうございます。ご家族おそろいで穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は、連合徳島の運動に対しまして格別のご支援・ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨災害、9月の北海道胆振東部地震、そして度重なる大型台風の直撃など、大規模な災害が頻発した年でした。

とりわけ、中国・四国地方を中心として広域かつ大規模な被害が発生した西日本豪雨災害における被災地支援として、連合四国ブロックは、四国で最も被害の大きかった愛媛県宇和島市に災害ボランティア派遣をすることとし、7月から8月にかけて延べ6日間にわたりブロック全体で625名、徳島からは91名のボランティアが宇和島市に復旧支援に入りました。

この派遣におきましては、連合徳島の構成組織のみならず、連合徳島ボランティアサポートチーム養成講座の受講生を中心に、労働福祉団体の役職員や国民民主党関係者などにもご参加をいただき貴重な経験を得るとともに被災地の方々からも身に余る評価をいただきました。

ご参加いただきました皆様方と送り出していただきました関係組織・団体に改めまして感謝申し上げます。

昨年は、働く者にとっても大きな法改正が行われました。改正内容の施行は、早いもので4月1日からとなりますが、2019春闘期に積極的な議論をスタートさせ、長時間労働を撲滅し、働く者の命と健康を守り、ワーク・ライフ・バランス社会を実現するため、職場や地域から積極的に働く者のための「働き方改革」を前進させることが重要です。

連合は、今年結成30周年を迎えるにあたり、「働くことを軸とする安心社会」の考え方を踏襲し発展させた「新たな連合ビジョン（仮称）」を策定します。この実現に向けて、一人ひとりが自らの「雇用や生活」と「政治や政策・制度」とのつながりを認識し、行動を促すための取り組みが不可欠です。

「クラシノソコアゲ応援団」キャンペーンに36協定の必要性・重要性を周知するための「Action！36」運動を加え、地域活性化を促す「地域元気フォーラム」の継続的な開催など「ヨコの広がり・タテの深掘り」を意識しつつ、積極的な内外へのコミュニケーションで運動のすそ野を拡げるべく、お互いに努力を重ねていくことが重要であると考えます。

今年が皆様方にとりましてよき年になりますようお祈り申し上げますとともに、私たち連合の運動に対する皆様方のより一層のご理解とご協力をお願い申し上げまして、私のあいさつにさせていただきます。

〈連合徳島2018～2019年度役員〉

役職名	氏名	組織名
会長	森本佳広	自治労
会長代行	新居栄治	電機連合
副会長	大谷竹人	自治労
〃	田村敬一	JP労組
〃	鎌谷浩司	電力総連
〃	矢鳴浩一	UAゼンセン
〃	尾関定	自動車総連
〃	松本光弘	自治労（県職労）
〃	川口誠二	情報労連（民間大手部会）
〃	宮本武司	交通労連（民間中小部会）
〃	吉野泰甲	全水道（官公労部会）
〃	藤田晶子	UAゼンセン（女性委員会）
事務局長	島和久	電力総連
副事務局長	山本雅敏	交通労連
〃	片岡可恭	自治労
財政局長	小谷正勝	JAM
中小労働対策本部長	原田俊彦	全国一般
執行委員	山田雄作	農協労連
〃	合田泰弘	運輸労連
〃	井内貴志	JR連合
〃	松本忠宏	私鉄総連
〃	鎌田耕一郎	基幹労連
〃	石橋元	JEC連合
〃	小栗穣	国公総連
〃	小原伸二	県教組
〃	三木裕子	全国一般（女性委員会）
会計監査	田村貴之	四国労金労組
〃	水元雄大	政労連
〃	松本淳史	全労済労組

ろうきん

新年のご挨拶
「キャッシュレス社会」

四国労働金庫
理事長　小川　俊

新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、ご家族と共に新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げますと共に、今年が幸せ多い年となりますようご祈念申し上げます。

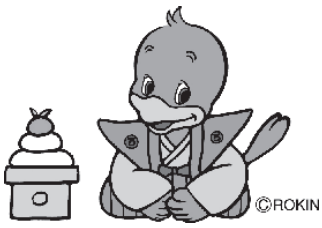
「四国ろうきん」は会員皆様の協力により預金･融資とも順調に伸びてきていますが、収益は日銀のマイナス金利政策の長期化によりきびしい局面が当面続くと予想しています。

そのために、ありがとう祭り等による会員利用拡大とブロック営業･グループ改革･事務改革等による経営効率の最大化を第7期中計に盛り込み事業を進めております。全ての施策は会員サービスを低下させず事業存続していくためのものです。

そして、金融業界ではITの進展により第4次産業革命とも言われる「キャッシュレス社会」への対応が急速に進んでいます。顧客利便性を最優先に情報収集･情報発信を遅滞なく進めてまいります。

私達は銀行とちがい「会員組織の金融機関」「働く仲間が作った福祉金融機関」であり、「ろうきん理念」のもと、今年も役職員一同、働く人達の金融面での生活応援組織であることを肝に銘じ仕事をしてまいります。

より一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



【徳島地区選出理事・監事】

副理事長	河村和男	（PHC労働組合四国支部）
専務理事	住友誠教	（員　外）
常務理事	大西和彦	（員　外）
理事	田村敬一	（JP労組徳島連絡協議会）
理事	川口誠二	（NTT労働組合徳島分会）
理事	大谷竹人	（自治労徳島県本部）
監事	尾関　定	（ジェイテクト労働組合徳島支部）

【徳島営業本部・営業店】

本部長	寺西　稔	副本部長	高来　徹
徳島支店長	遠藤好人	池田支店長	佐々木美紀
徳島北支店長	山本真史	阿南支店長	今治五百合
（徳島北支店長職務代理）	板東啓太郎	鴨島支店長	西　英二
徳島LC所長	中澤正和	徳島北LC所長	太田越貴久

※LC＝ローンセンター

全労済

保障のことなら 全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会

2019年6月「こくみん共済coop」に変わります

全労済徳島推進本部
（徳島県共済生活協同組合）
本部長（理事長）　藤岡　一雄

新年、明けましておめでとうございます。

皆さまには輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、6月大阪北部地震、7月豪雨、8月台風、9月北海道胆振東部地震など全国で大規模災害が多発し、13万件を超える組合員の被災を受け付けました。県内でも台風20号・21号・24号の被害が1200件にのぼり、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。全労済徳島推進本部は、災害対応を最優先し、被災家屋等の現地調査や共済金のお支払いなど迅速に対応してきました。今後も、「頻発する自然災害」を想定した備えを万全のものとし、全労済としての社会的使命を果たしていく所存です。

この間、皆さまからお寄せいただいた大阪北部地震および7月豪雨被災者支援の義援募金は672万2,581円となり、弊会の補填金を合わせて、大阪北部地震に200万円、7月豪雨に550万円をお届けしました。ご協力に感謝します。また、大阪府、岡山県、広島県、愛媛県には全労済災害支援復興基金よりそれぞれ500万円を贈呈させていただきました。

さて、私たち全労済は本年6月、正式名称である「全国労働者共済生活協同組合連合会」（略称「全労済」）は変えず、新しい姿を表す「ブランド名（愛称）」を『こくみん共済coop』とします。『こくみん共済coop』とは、単に商品名称を愛称にしたのではなく、労働者自主福祉運動からスタートした活動を核に、さらにその領域を広げ、「こくみん みんなのために、共済というたすけあいの仕組みを提供する、協同組合（coop）である」ことを表しています。

全労済の『全』は、全国での実施を表し、『労』は労働、『済』は「助ける、救う」という意味ですが、限定的な組織との印象を与え、世代による認知度に差があります。そこで、新しい全労済のめざす姿を広く伝え、より親しまれる存在となるため、正式名称、略称とは別の「ブランド名（愛称）」を設けました。

これからの社会は、少子高齢化・自然災害の多発・孤立化・社会保障不安など、さまざまな課題が山積しています。私たちは、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」という理念の実現にむけ、「共済」活動を通じて人と人の「たすけあいの輪」を結び、「安心のネットワーク」をひろげ、たすけあいによるセーフティネット（保障と事前・事後の安心）づくりから、誰一人とり残さない社会づくりを進める決意です。また、徳島駅伝への協賛や「7才の交通安全プロジェクト」（横断旗の寄贈）を通じて、健康な体と心を育み、子どもたちの安全を地域で確保する社会貢献活動も積極的に進めていきます。

本年も引き続き皆さまのご支援をいただけるようお願いします。

〈2017・2018年度全労済徳島推進本部　役員体制〉

役職名	氏名	所属団体	役職名	氏名	所属団体
本部長	藤岡　一雄	全労済徳島推進本部	代表委員	新居　栄治	PHC労働組合四国支部脇町地区
副本部長	新居　良雄	全徳島建設労働組合(フレッセ)	代表委員	磯田　稔	四国化成徳島労働組合
事務局長	豊田　浩	全労済徳島推進本部	代表委員	松本　光弘	徳島県職員連合労働組合
代表委員	松永　勉	東邦テナックス労働組合徳島支部	代表委員	東條　光洋	徳島県教職員団体連合会
代表委員	宮本　武司	四国高速運輸労働組合	代表委員	田北　直樹	徳島県高等学校教職員組合
代表委員	尾関　定	ジェイテクト労働組合徳島支部	代表委員	亀田　真	徳島市交通労働組合
代表委員	益田　英明	日清紡労働組合徳島支部	代表委員	森井　郁男	小松島市職員組合
代表委員	鎌谷　浩司	四国電力労働組合徳島県本部	代表委員	梶原　樹	生活協同組合とくしま生協
代表委員	岩生　大治	徳島バス労働組合	代表委員	合田　泰弘	全日通労働組合四国支部徳島地域協議会
代表委員	山田　知弘	徳島県公立学校教職員組合	代表委員	好野　祐司	徳島市役所職員労働組合連合会
代表委員	三木　裕子	全国一般徳島地方労働組合	オブザーバー	北田　洋介	徳島県公立学校教職員組合
代表委員	鈴木　圭吾	三好市職員労働組合連合会	オブザーバー	上原　卓	徳島県教職員団体連合会
代表委員	鎌田耕一郎	新日本電工労働組合徳島支部	オブザーバー	藤田　晶子	日清紡労働組合徳島支部

勤労者福祉ネットワーク

2019年ごあいさつ

(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク
理事長　久積育郎

新年あけましておめでとうございます。

皆様には新たな希望を持って新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は当財団の諸事業に対し、特段のご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

おかげさまで、当財団として、働く者とその家族の皆さんのそれぞれのライフステージに対応し、“いつでも、どこでも、だれでも”が利用できる勤労者の総合福祉推進をめざし、着実に歩むことができました。ここに改めて深く感謝を申し上げます。

さて、当財団にとって2019年度の重点課題は、

(1)　ファミリー・サポート・センター事業として病児・病後児預かりの全県化・子育て広場の設置拡大、そして徳島の地にファミサポが誕生して20周年の記念行事の開催

(2)　あわ～ず徳島の広域化対策会議、市町村検討会の開催と公労使の三者協力による広域化・自立化の早期実現

(3)　“結婚したい”をサポートするマリッサとくしま（とくしまマリッジサポートセンター）開設2年を経て、22組の成婚カップルが誕生、更なる飛躍の3年目へのチャレンジ

(4)　4つの冠基金、17のプログラム支援事業で寄付総額が1,000万円を超えたハートフルゆめ基金とくしま“ほっとけん・なんとかでけんか・なんとかせな”を支援する更なる社会貢献と記念誌の発行

(5)　“多文化共生社会”の序章の時代を迎え、①くーぽん丸。2019の多言語表示　②県内定住外国人の交流カフェ（仮称）の開設　③モンゴル国で環境・教育に取り組むゾルグ財団スタッフの短期研修の受け入れと交流・連携の開始

などであります。

今、世界は国連サミット（2015年９月）で決議された「貧困をなくそう」「人や国の不平等をなくそう」など17項目の持続可能な開発目標（SDGs）へ向け世界の認識を一つにし大きな一歩を踏み出しました。

当財団として改めて設立の原点に立ち返り、人々の連帯を軸とした“共助・共生の福祉社会”の実現をめざすネットワークの一員として、しっかりと力強く前進を続けたいと考えています。

新年にあたりまして、皆様のご健勝、ご活躍を祈念すると共に、当財団への更なるご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。

〈(公財) 徳島県勤労者福祉ネットワーク役員〉

役職名	氏名	所属	役職名	氏名	所属
理事長	久積　育郎	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク	理事	玉田　直彦	徳島県商工会連合会・専務理事
副理事長	柿内　愼市	徳島県経営者協会・会長	〃	寺西　稔	四国労働金庫徳島県本部・本部長
〃	川越　敏良	(公社)徳島県労働者福祉協議会・会長	〃	藤岡　一雄	全労済徳島推進本部・本部長
〃	黒下　耕司	徳島県商工労働観光部・部長	〃	喜多條雅子	NPO法人Creer・理事
専務理事	杉本　友好	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク	〃	加渡いづみ	四国大学短期大学部・教授
常務理事	川原　佳子	(公財)徳島県勤労者福祉ネットワーク	監事	武田　勝行	税理士
理事	小泉吉太郎	徳島県市長会・事務局長	〃	蔭山　眞應	徳島県中小企業団体中央会・専務理事
〃	小原　直樹	徳島県町村会・常務理事	〃	森本　佳広	日本労働組合総連合会徳島県連合会・会長
〃	小笠　恭彦	徳島県商工会議所連合会・専務理事			

労働福祉会館

謹賀新年

徳島県労働福祉会館
理事長　藤原　学

平成最後の年、新しい時代の幕開けとなる2019年、皆様方には、つつがなく希望に満ちた新年を迎えられましたこと心からお慶び申し上げます。

わーくぴあ徳島は、お陰を持ちまして本年で設立48年を迎えることができました。今日までご尽力いただきました会員の皆様、ご入居の各団体、会館をご利用いただいているすべての皆様に心からお礼申し上げます。

わーくぴあ徳島は、協同互助の精神に立脚し、より公共性・公益性を高めるための諸事業を展開すると共に、各分野における非営利の社会貢献団体を受け入れています。労働者の様々な諸問題の解決に尽くす連合徳島をはじめとする労働組合、労働者自主福祉運動を進める「公社・徳島労福協」、公労使で構成する「公財・勤労者福祉ネットワーク」、労働金庫や全労済の労働者福祉事業団体、障がい者の就労を通して自立支援を進める「クレエール」、食品廃棄の活用・子ども食堂と子どもの居場所づくりや中間的就労を創造する「フードバンクとくしま」等々、より公共性の高い非営利団体が入居し、さらに会館管理をシニアの働く場づくりを進める「NPO壮生」、駐車場管理を「NPO腎臓病協議会」に委託しており、文字通りお年寄りから子どもたちまで幅広く親しまれる県民に開かれたわーくぴあ徳島として活用されています。

わーくぴあ徳島では、将来の方向性を検討する「将来の新館建設を展望した検討委員会」を設置し、昨年3月15日に2年の議論を経た「答申書」をお受けいたしました。「答申書」には、①「県内労働者福祉の拡充へ向けた基盤の確立と規模の拡大を図るため、労福協と労働福祉会館の法人統合を図ることが適当である。」②「新たな労働福祉会館は、県内勤労者、県民のための労働者福祉のワンストップ総合センターとしての機能強化を図ると共に、新たな建屋については、現在地にて建設することが適当である」③「今後は、速やかに関係団体・行政と連携して新館建設準備会を設置し、新館建設の具体化へ向けスタートさせることが適当である。」とまとめていただきました。本年は、「答申書」に基づく、新たな労働福祉会館に向けた取り組みの初年度となり、極めて重要な節目の年となります。改めまして、皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

公益目的支出事業としての「とくしま社会運動資料センター」は、社会的な課題を取り上げた公開講座の開催、社会運動や労働運動、部落解放運動等に関する資料、団塊世代が持つ貴重な書籍・資料等後世の運動の参考とすることを目的に収集活動を進めています。皆様のご協力によりまして1万点余りの貴重な資料・書籍が集積されており、今後とも、特段のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様方にとって輝かしい希望の一年でありますことをお祈り申し上げ、年頭にあたりましてのご挨拶といたします。

徳島県労働福祉会館役員一覧

役職名	氏名	現在の所属
理事長	藤原　学	徳島県労働福祉会館
副理事長	久積　育郎	徳島県勤労者福祉ネットワーク
常務理事	福本　純	徳島県労働福祉会館
理事	川越　敏良	徳島県労働者福祉協議会
〃	藤岡　一雄	全労済徳島推進本部
〃	寺西　稔	四国労働金庫
〃	森本　佳広	日本労働組合総連合会徳島県連合会
監事	豊田　浩	全労済徳島推進本部
〃	板東　啓太郎	四国労働金庫

フレッセ

2019年 年頭のご挨拶

フレッセ
執行委員長　大地　均

新年明けましておめでとうございます。日頃はフレッセの諸活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

私たちは一般勤労者に比べて不十分な福利厚生面を補うために、国民健康保険や労働保険、組合共済などを中心として、建設に従事する仲間の仕事と生活を守る取り組みを進めてきました。

また、住環境の改善や、地域経済の活性化にもつながる「リフォーム助成制度」の創設や拡充、低い賃金水準の下支えとなる公契約条例の制定に向けた取り組みを進めています。

昨年は記録的な猛暑、豪雨災害に巨大台風、さらには大阪や北海道を襲った地震と、自然災害が猛威を振るった1年でした。地震や津波をはじめとする自然災害に対する備えの重要性が再認識された年でもありました。改めて県民の命を守るための住宅の耐震化は喫緊の課題といえます。

組合でも耐震シェルターの普及や耐震改修を通じて貢献していきます。

組合や仲間を取り巻く状況は、依然きびしく、慢性的な後継者不足、都市と地方の格差の拡大、建設従事者の高齢化等々、乗り越えなければならないことは山積みです。

これまでに培ってきた仲間からの信頼と支持のもと、県内で働く建設労働者・職人の仕事と生活を守るための取り組みを進めていきます。

今後ともフレッセの活動に対しまして、皆様のより一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

〈フレッセ県本部役員名簿〉

役職名	氏名
執行委員長	大地　均
副執行委員長	中山　邦正
〃	向井　行雄
書記長	新居　良雄
財政部長	賀治　隆志
執行委員	中　敏昭
〃	秋山　威
〃	相原　隆
〃	坂本　健作
〃	井原　弘
〃	長谷部　尊之
〃	白土　義信
〃	楠野　進
〃	外山　康雄
〃	大溝　典幸
〃	住友　寛
〃	西野　慶憲
〃	田中　順二
〃	藤本　順二
青年部長	平田　孝夫
会計監査	山崎　達雄
〃	伊藤　好威
〃	多田　勲

徳島県生活協同組合連合会

2019年迎春のごあいさつ

徳島県生活協同組合連合会
会長　多田道代

新年あけましておめでとうございます。

皆様には新たな希望と共に新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。日頃は私ども連合会に多大なご支援ご協力を賜りありがとうございます。

昨年はまたまた激動の一年でした。平昌五輪に始まりスポーツ界も明暗様々なニュースがあり、世界情勢も各国の思惑が複雑に絡み合い、日本の立ち位置を明確にしなければ飲み込まれてしまいそうな目まぐるしい展開です。安倍総理の３選もお決まりごとのように運ばれ、国会は相も変わらずお粗末な論戦にもならないようなやりとりに終始しています。

外国人労働者の問題や、とりわけ2019年10月に行われるとされる消費税増税に関しては、何をおいても私たちの生活、くらしに直接関わる事案です。軽減税率がいろいろ報道されていますが、いずれも場当たり的で、どんなに生活感が伴わない方々が創っているんだろうと呆れるくらい非現実的で突っ込みどころ満載です。必要なものは、きちんと説明を尽くしてもらえば納得して国民は払います。大企業におもねり、高額所得者がいつまでも優遇されるような増税にはやはり不信感が拭えません。

憲法改正の論議も半ば棚上げ状態のような形ですが、数の力で押し切ろうとするのは看過できません。私たちももっと学習して表には出ない本当の怖さ、また現憲法の素晴らしさを共有し発信していきたいです。

今、激動の変革の時代に私たちは生きています。日々誠実に、明るい未来を語りながら活動していくことでその先に平和への道しるべがあることを信じたいです。

皆様の益々のご活躍とご多幸を祈念するとともに、当連合会へのさらなるご支援ご協力をお願い申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

〈徳島県生活協同組合連合会役員〉

役職名	氏名	所属単協名
会長	多田　道代	生活協同組合とくしま生協
副会長	藤岡　一雄	徳島県共済生活協同組合
専務理事	梶原　樹	生活協同組合とくしま生協
理事	木津　正憲	徳島県学校生活協同組合
理事	豊田　浩	徳島県共済生活協同組合
理事	山本　浩史	徳島健康生活協同組合
理事	松田　大亮	徳島健康生活協同組合
理事	北岡　徹	生活協同組合コープ自然派しこく
理事	松永　隆	徳島県職員生活協同組合
理事	高橋　敬司	徳島大学生活協同組合
理事	細川　尚光	生活協同組合とくしま生協
監事	吉野　才治	徳島健康生活協同組合
監事	宮本　久恵	生活協同組合コープ自然派しこく
監事	宮崎　隆義	徳島大学生活協同組合

徳島県退職者連合

2019年 新年のご挨拶

徳島県退職者連合
会長　日下公明

新年あけましておめでとうございます。皆様には、新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、徳島県退職者連合に対し、格別のご支援、ご協力を賜り有り難うございました。新しい年を迎えるに当たり、この1年の運動方針について紹介させて頂きます。

退職者連合は、全国で約80万人、徳島県退職者連合は、約８千人の組織として活動しています。日本退職者連合は、2018年７月12日、第22回定期総会を開催し「統一地方選挙・参議院戦挙を勝ち抜き、経済優先の政治から生活最優先の政治に変え、生き生きと安心して暮らせる社会にしよう！！」をスローガンに決定し、１年間の運動方針を決定しました。

政府は、「骨太方針2015」により社会保障費の伸びを３年間、毎年5,000億円以内に抑えることを決定し2016年度に1,700億円、2017年度に1,400億円、2018年度に1,300億円が削減されました。これでは「国民の安心」「将来の希望」などは夢物語となり社会弱者や多くの勤労国民の生活は一層苦しくなることが危惧されます。なかでも、いま国民にとって大切な「年金、医療、介護」を柱とする社会保障制度の改正によって、高齢者のみならず若者も不安を募らせています。

退職者連合は、高齢者が人並みの生活を営むことができる年金・安心信頼の医療と介護制度の充実、全ての世代に行きわたる社会保障制度の充実に向けて中央、地方が取り組みを進めてまいります。さらに人間としての尊厳をもって人生を全うできる社会、国民が安心暮らせる戦争の心配の無い平和な社会の実現をめざし積極的に行動していくことも確認しました。

この1年が平和で、安心して暮らせる良い年になりますようご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせて頂きます。

〈徳島県退職者連合役員〉

役職名	氏名	組織名
会長	日下公明	NTT労組退職者の会徳島県支部協議会
副会長	宮本剛	UAゼンセン友の会徳島県支部
〃	澁谷良臣	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	近藤啓治	日本郵政グループ労働組合徳島県連絡協議会
〃	八木由利子	全日本自治体退職者会徳島県本部
事務局長	山藤正義	林野関連退職者の会徳島県支部
事務局次長	坂尾直也	徳島県労働金庫退職者の会
幹事	福井英利	徳島県退職教職員協議会
〃	岩崎啓二	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	坂本忠成	NTT労組退職者の会徳島県支部協議会
〃	大倉武次郎	全たばこ退職者の会池田支部
〃	青山紘一	徳島バス労働組合退職者会
〃	国見聖	徳島造船退職者の会
〃	鏡和博	農林水産省徳島退職者会協議会
〃	有瀬政明	全国山林労働組合徳島県本部退職者会
〃	平岡重利	全日本自治体退職者会徳島県本部
〃	児島等	徳島県農協労連退職者会
〃	湯浅和則	南部地域協議会
会計監査	橋本保子	徳島県退職教職員協議会
〃	冨田真由美	徳島県退職女性教職員の会
顧問（新）	小笠原幸雄	NTT労組退職者の会徳島県支部協議会

NPO法人 徳島労働安全衛生センター

新年のご挨拶

NPO法人
徳島労働安全衛生センター
理事長　新居良雄

2019年の新年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃は、NPO法人徳島労働安全衛生センターの活動に対し深いご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当センターは労働災害や職業病を未然に防止するため、労働者の安全と健康に関する調査、相談、教育、啓発事業、衛生管理者の育成等々の活動を展開しています。

全国の労働災害は長期的には減少傾向にありますが、2017年の休業4日以上の死傷者は120,460人で、このうち978人もの尊い命が失われました。特に第3次産業の死傷者が年々増加しており、全体の46.5%を占めております。

厚生労働省は災害の増加の背景として、慢性的な人材不足、労働力の高齢化の進展などが考えられると分析しています。

全国労働衛生週間の昨年のスローガンは「こころとからだの健康づくり、みんなで進める働き方改革」でした。この間、脳・精神疾患による労災申請が増加しており、全産業における精神障害に対するメンタルヘルス対策が重要課題となっています。

このような状況のもと、労働災害などの悩み相談ダイヤルを開設し（労働災害、メンタルヘルス、石綿、職業病）また、事業場における衛生管理を適切に進めていくためには、衛生管理スタッフが十分な知識を有していることが不可欠です。

当センターでは、事業主による自主的な労働災害防止活動へのサポートを通じて安全衛生水準の向上に寄与するため、「人財育成」「技術サービス」「情報発信」の側面から各種事業を積極的に展開しております。

企業内に衛生管理者育成を目的に、昨年も「安全・衛生管理者」第19期養成講座を実施し「第一種衛生管理者試験」でも素晴らしい成果を残しました。

本年も、労働者の安全と健康を守るため当センターの運営に対しまして、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げまして新年のご挨拶とさせて頂きます。

〈役員名簿〉

役職名	氏名
理事長	新居良雄
副理事長	島和久
〃	大谷竹人
〃	鎌谷浩司
〃	吉野泰甲
専務理事	片岡可恭
理事	原田俊彦
〃	矢鳴浩一
〃	林善章
〃	田村敬一
〃	下則子
〃	川口誠二
〃	井内猛
〃	小谷正勝
〃	亀田真
監事	岩生大治
〃	小栗譲

ＮＰＯ法人 壮　生

新年のご挨拶

ＮＰＯ法人壮生
理事長　中　村　昌　宏

新年明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとりまして、幸多き輝かしい年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

さて、昨年2018年の日本経済は、物価上昇率や所得を好況・不況を確かめる基準にした場合、極めて不調と言われました。さらには、物価が継続的に下落する「デフレーション」からも脱却できていません。2020年には東京オリンピックが開催されることとなっていますが、オリンピックの開催に伴い、ある程度の需要が発生すると多くの企業が考えているため、企業は生産や投資を積極的に進めています。ただし、建設需要はオリンピックの終了に伴い、消えてなくなることになります。さらに、本年秋に予定されている消費税率の10%への引き上げです。消費税の増税は、消費停滞を招くことも予想されるところです。

こうした社会情勢を直視し、私たち壮生では、「老いてますます壮ん」を合言葉として、一人暮らしシニアの健康、就労、生きがい、居場所づくりといった重要な課題に向けての取り組みを行っております。これからの共生社会を展望し、暮らしのサービスを希望する会員とサービスを提供する会員とのマッチングを行う「サポート壮生」は今年7月で丸2年目を迎えます。改めて共生社会の実現に向けての取り組みは喫緊の課題と言えます。

また、その他の会員向け事業といたしましては、シニアが集う交流の場としての「シニアカフェ」、年5回開催する「折り紙教室」、週2回開催する「パソコンサークル」等を実施しております。さらに活動を活発にしていくためにも、新年度は新たな事業を計画しております。多くの皆様の壮生へのご入会をお待ちいたしますとともに、併せて、今後のご指導とご協力をお願いいたします。

〈2018年度役員〉

役職名	氏名
理事長	中村昌宏
副理事長	前田すづ子
専務理事	元川　仁
理事	久積育郎
〃	國見　聖
〃	辻　博史
〃	村田知江美
〃	佐伯雅子
〃	東條恭子
〃	板東喜代子
監事	清田敏弘
〃	坂尾直也

地域ライフサポートセンター

徳島中央ライフサポートセンター

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、徳島中央ライフサポートセンターの諸事業に格段のご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

当センターは、ワンストップサービスの拠点として、関係団体とのネットワークにより「暮らしなんでも無料相談」、日々の暮らしに役立つ情報の提供など地域福祉や労働者福祉の向上を目指した様々な事業を行い、地域住民はじめ県民の皆様の生活をサポートしています。

昨年の活動としては、恒例となりました「キウイ収穫体験祭り」を11月に佐那河内村の果樹オーナー園で行いました。当日は、素晴らしい晴天のもと多くの方がキウイ収穫を体験し、抽選会やキウイの試食を楽しみました。

また、3月には「金融トラブルから身を守る基礎講座」を開催。現在、多重債務者は115万人で一人平均53万円が返済できない状態にあります。支払い延滞でブラックリストに載ってしまった例を挙げ、ダイレクトメールなどで勧めてくる『リボ払い』は非常に金利が高くて絶対にしてはいけないとのアドバイスがありました。

また、12月には、県内一斉「奨学金に関する相談ダイヤル」も開催しました。

更に、平和や人権問題、国際交流にも積極的に取り組んだところです。

本年も、地域住民との結びつきを強め、地域から期待される「ワンストップサービス」機能の充実に努めてまいりますので、格別のご支援、ご協力、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

＜徳島中央ライフサポートセンター役員＞

役職名	氏名	所属団体
会長	宮本武司	徳島地域代表
副会長	遠藤好人	四国労金徳島営業本部
〃	豊田　浩	全労済徳島推進本部
〃	新居良雄	フレッセ
〃	杉本友好	徳島県勤労者福祉ネットワーク
〃	松本光弘	徳島地域代表
〃	藤崎夏男	北部地域代表
〃	尾田賢治	中部地域代表
事務局長	板東喜代子	専従
理事	山本真史	四国労金徳島北支店
〃	西　英二	四国労金鴨島支店
〃	祖父江広幸	徳島地域代表
〃	遠藤弘也	北部地域代表
〃	青山広樹	徳島地域代表
〃	加美大輔	中部地域代表
〃	元川　仁	ＮＰＯ法人壮生
監事	谷本　智	徳島地域代表
〃	大平和広	北部地域代表

徳島西部ライフサポートセンター

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は徳島西部ライフサポートセンターの活動に対しまして、ご支援とご協力をいただきましたことに心から御礼申し上げます。

昨年は法律相談を月1回、ニート相談については毎週1回から2回に増やし充実させてきました。また、生活困窮者支援事業として、つるぎ町と東みよし町の就労準備支援事業を行い、多方面の機関と連携し、就労準備の情報の共有化を図りました。他にも、スポーツ少年団支援や着ぐるみ貸出事業、エコ活動等も実施しました。

夏の恒例行事である「夏休みフェスティバル」を7月22日に開催しました。608名が集い、アメゴのつかみ取りや抽選会を行いました。昨夏は格別の暑さで熱中症の心配もありましたが、テントを増設して日蔭も多く作り、無事に行うことができました。みなさんに楽しんでもらえました。

また、11月11日には県民と働く者のとくしまフェスタ2018の一環として「ゆとり・癒しのウォーキング～紅葉と温泉の祖谷渓谷～」を行いました。天気も良く暖かく、106名の参加がありました。ウォーキング後はかずら橋や温泉、モノライダーを楽しんでいただきました。初めてロングジップスライダーに挑戦した参加者もいて、ゆとりある一日を過ごしてもらいました。

12月4日には、奨学金に関する相談会を実施しました。労福協と3LSCで一斉に開催し、初の試みとなりました。

本年も、勤労者や地域に根ざした「目に見える運動」をテーマに様々な活動を展開していきます。引き続き、皆様のより一層のご支援と、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

＜徳島西部ライフサポートセンター役員＞

役職名	氏名	職場
会長	大西　茂	三好市職員労働組合連合会
副会長	佐々木美紀	四国労働金庫池田支店
〃	豊田　浩	全労済徳島推進本部
〃	上田匠児	PHC労働組合四国支部
事務局長	蔦　泰見	連合徳島専従
理事	南　馨	日本郵政グループ労働組合徳島西支部
〃	逸見秀夫	阿波みよし農協職員労働組合
〃	赤窄政治	四国交通労働組合
〃	秋山和久	四国電力労働組合池田支部
〃	新居良雄	フレッセ
〃	本田達也	徳島県病院局職員労働組合三好病院支部
〃	吉田　徹	徳島県職員労働組合三好支部
〃	石田幸市	徳島県職員労働組合美馬支部
〃	仲　正敏	美馬市職員労働組合連合会
〃	熊井　健	つるぎ町職員労働組合
〃	細田博樹	三好市職員労働組合連合会
〃	三好芳和	東みよし町職員労働組合
〃	矢藤寿浩	PHC労働組合四国支部
監事	松本直美	美馬農協職員労働組合
〃	岡田貴明	四国労働金庫労働組合徳島県支部池田分会

徳島南部ライフサポートセンター

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は徳島南部ライフサポートセンターの諸事業に対しまして、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

市場経済至上主義、なりふり構わぬ拝金主義が蔓延し、長く長く続いています。

こんな状態が続いたその結果として、弱肉強食、自分ファースト、そして強大な権力者を求めて群れる、という気風が、国民の中に深く静かに浸透しているのではないでしょうか。

今まで労働者を守る為にあった労働者保護法制が、利益第一主義の企業側に都合のいいように改悪され、貧困児童、ワーキングプア、下流老人などという言葉が定着する今日、政策・制度の狭間で苦しむ弱者の方々などを目の当たりにし、私たちの任務の一層の重要性と同時にその困難性を痛感する毎日です。

本年も微力ながら「生きがい・やりがい・働きがいを求める人たちの為に、色々な角度や形でのサポートに努める」ことが任務であるとの認識を、より一層強く持ち、地域の方々、労働福祉団体やNPO、社会的資源などと幅広く連携しながら「なんでも相談」や「運転免許特別講座」のサポート、各種イベントの開催と協賛、エコ運動の推進など、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざす活動に寄与していきたいと考えます。

今後ともご支援・ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

＜徳島南部ライフサポートセンター役員＞

役職名	氏名	所属団体
会長	松本佳彦	自治労阿南市職労連
副会長	宮田義文	JP労組徳島南支部
〃	加藤憲司	新日本電工労組徳島支部
〃	森口芳洋	フレッセ阿南支部
〃	今治五百合	四国労働金庫阿南支店
〃	豊田　浩	全労済徳島推進本部
〃	川原佳子	徳島県勤労者福祉ネットワーク
事務局長	佐藤芳輝	専従
事務局次長	山本日出夫	連合徳島
理事	谷本修司	倉敷紡績労組徳島支部
〃	山西健児	四国電労阿南火力支部
〃	葉田博章	紙パ連合王子新労富岡支部
〃	前田　淳	自治労阿南市職労連
〃	根木屋彰文	自治労那賀町職
〃	前原健太	自治労牟岐町職
〃	井坂　博	全国一般柏涛会支部
〃	遠藤伸輔	阿南農協労組
〃	岐　千代美	南部地協女性委員会
〃	片岡可恭	連合徳島
監事	清水　昇	自治労徳島県職
〃	篠原裕助	新日本電工労組徳島支部
書記	生原ひろみ	専従

新春お年玉プレゼント!!

問題　大坂な●み

「女子テニス界の新星」と言われる今話題のプロテニスプレーヤーは？（○に当てはまるひらがな1文字をお答えください）

正解者の中から抽選で30名様に**図書券**（1,000円）を**プレゼント**します。

応募方法　官製ハガキまたはFAX用紙に解答を書いて、下記あて先まで送付して下さい。その際、住所、氏名を必ずお書き下さい。

応募締切日　2019年1月末日

送付先　〒770-0942　徳島市昭和町3丁目35−1
（公社）徳島県労働者福祉協議会
お年玉プレゼント係　FAX 088-625-5113

※記入された個人情報等はプレゼント発送以外の目的では使用しません。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

ほなけん安心！
ええじょ！全労済

みんなのそばにいつも安心を
マイカー共済
自動車総合補償共済

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済徳島推進本部
徳島県共済生活協同組合

発　行　公益社団法人　徳島県労働者福祉協議会
徳島市昭和町3丁目35-1（わーくぴあ徳島 内）
TEL（088）625-8387・FAX（088）625-5113
URL http://www.tokushima-rofuku.net/
e-mail tokushima@rofuku.net

編集・発行人　川　越　敏　良
印　刷　者　(有)フォトプリント白石